

令和6年度 ふるさと文学館運営基本方針

ふるさと文学館は、令和元年度に新たに策定された福井県教育振興基本計画等を踏まえ、文学を中心とした幅広い活動が可能な施設として、県立図書館、県文書館をはじめとした県内外の関係機関と連携しながら、多くの人たちがふるさと文学に親しみ、文学を楽しむことができるよう、以下の取組を進めます。

1 資料の収集・整理、調査・研究

福井県ゆかりの作家や福井県が舞台となった作品に関わる資料を積極的に収集・整理し、調査研究を進めます。

(1) 資料の調査・収集と整理

- ・福井ゆかりの作家の家族、全国文学館、古書店等と連携し、資料の情報提供や総合的な資料収集に努めます。

(2) 情報提供と活用

- ・自館所蔵資料の分類、整理、デジタル化を進め、資料情報を図書館、文書館と統合したシステムで検索できるように整備します。
- ・これまで未展示の資料をプロローグゾーンなどで紹介し、自館所蔵資料の活用機会を増やします。

2 文学の魅力の発信

福井ゆかりの作家の自筆原稿や愛用品など貴重な資料を展示し、多くの人たちが広く文学者や文学作品に親しむ機会を提供します。

(1) 全国文学館等と連携した展示

- ・おしどり文学館協定を結んでいる吉村昭記念文学館や、全国文学館協議会との連携を図り、福井にいながらにして県外の様々な文学・作家に触れる機会を提供します。
- ・他の文学館で開催された巡回企画等を調査・誘致し、多彩な展示を行う準備を進めます。
- ・県内文芸創作グループ等との連携企画を行い、創作活動や利用者同士の交流促進の場を提供します。

(2) 多彩な資料を用いた展示

- ・絵本や原画、写真など子どもから大人まで家族で楽しめる展示をきっかけとして、多くの人の来館を促進します。
- ・映像、音声資料を効果的に使い、展示室だけでなく、ホームページを活用して来館しなくても福井ゆかりの作家や福井を舞台とする作品を身近に感じられる展示を行います。
- ・小中学生向けの展示や資料作成、高校と連携したイベント、大学生イベント企画の参画などを通し、文学館への新たな関心を喚起します。

3 文学活動や交流の支援

多くの人たちが福井ゆかりの作家や文学などについて、広く深く知り、携わることができるよう、講演会や文芸創作講座などの活動を進めます。

(1) 図書館、文書館との三館連携

- ・三館が持つ特徴を生かした統一テーマでの展示を行い、相互に利用者の循環を図ります。
- ・文学関係団体と連携し、三館の機能・設備を活用したイベントを実施します。

(2) 講演会、文学ゼミ

- ・著名作家や福井ゆかりの作家による講演会や文芸創作講座、映画上映会など文学に関する多様なイベントを開催します。
- ・文芸誌の現役編集者による小説家養成講座を行い、作家を志す若者の執筆活動を支援します。

(3) 情報発信

- ・HP、メルマガ、SNSなどのネットワークツールを活用し、幅広い利用者への情報発信に努めます。
- ・子ども向けパンフレットやワークシートなどを製作し、児童生徒が利用しやすい環境を整備します。